

▶13日 木曜

出エジプト



16:11 主はモーセに告げて仰せられた。
16:12 「わたしはイスラエル人のつぶやきを聞いた。彼らに告げて言え。『あなたがたは夕暮れには肉を食べ、朝にはパンで満ち足りるであろう。あなたがたはわたしがあなたがたの神、主であることを知るようになる。』」
16:13 それから、夕方になるとうずらが飛んで来て、宿営をおおい、朝になると、宿営の回りに露が一面に降った。
16:14 その一面の露が上がると、見よ、荒野の面には、地に降りた白い霜のような細かいもの、うろこのような細かいものがあった。
16:15 イスラエル人はこれを見て、「これは何だろう。」と互いに言った。彼らはそれが何か知らなかったからである。モーセは彼らに言った。「これは主があなたがたに食物として与えてくださったパンです。」
16:16 主が命じられたことはこうです。『各自、自分の食べる分だけ、ひとり当たりオメルずつ、あなたがたの人数に応じてそれを集めよ。各自、自分の天幕にいる者のために、それを取れ。』」
16:17 そこで、イスラエル人はそのとおりにした。ある者は多く、ある者は少なく集めた。
16:18 しかし、彼らがオメルでそれを計てみると、多く集めた者も余ることはなく、少なく集めた者も足りないことはなかった。各自は自分の食べる分だけ集めたのである。
16:19 モーセは彼らに言った。「だれも、それを、朝まで残しておいてはいけません。」
16:20 彼らはモーセの言うことを聞かず、あ

る者は朝まで、それを残しておいた。すると、それに虫がわき、悪臭を放った。そこでモーセは彼らに向かって怒った。

うずらの後に、パンが地に降りました。このパンはマナと呼ばれたもので、新約においてはイエス様の雛形であり、またみことばの雛形でもあります。イエス様は御自分のことを、天から下ったパンであると表現しておられます。すなわち命のために必要なものであり、永遠の命のために天から来られたということです。

また、人は神のことばによって養われると、イエス様がおっしゃいました。まさに日々の聖書のみことばが、私たちにとってのパンなのです。このみことばは、ためておくことができず、日々いただく必要があります。まさにこのマナを一緒なのです。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

